

中村鯨城会だより

【第70号】平成30年10月発行/名古屋市高年大学鯨城学園中村鯨城会



絵手紙が語りかける

***** 目 次 *****

* 【表紙】	1
* 【目次】	2
* 【巻頭言】	《 30周年記念式典を終えて 》	3
* 【総務委員会】	《 定例役員会議事録 》	4~5
* 【総務委員会】	《 地域ミーティング 》	6
* 【地域活動委員会】	《 活動報告、今後の予定 》	7
* 【福祉活動委員会】	《 活動報告、今後の予定 》	8
* 【行事委員会】	《 活動報告、今後の予定、脳卒中にならない為に 》	9
* 【行事委員会】	《 リゾートリンクス 》	10
* 【同好会】	《 活動状況 》	11~12
* 【自由投稿】	《 人生の最終章、健康で元気であり続けるために 》	13
* 【自由投稿】	《 妻の本棚、これって趣味？ 》	14
* 【自由投稿】	《 村が消えた 》	15
* 【自由投稿】	《 広報委員のつぶやき 》	16
* 【自由投稿】	《 俳句、短歌 》	17
* 【裏表紙】	《 お知らせ、編集後記 》	18



“下手でいい、下手がいい、
でも素敵な味がでる”

出品者: 絵手紙同好会

11期 水谷 輝子
23期 堀井 隆子
24期 伊藤 澄子
28期 鬼頭 と志子

《 30 周年記念式典を終えて 》

中村鯨城会会長 安井 則子

平成 30 年 6 月 10 日(日)、中村鯨城会創立 30 周年記念式典がフジコミュニティーセンター4 階大会議場にて開催されました。当日は台風並みの暴風雨という天気予報で大変心配しましたが取り越し苦労に終わり安堵しました。

記念式典には、中村区窪田区長はじめ多くのご来賓の方々や、各区の代議員や会員の皆様、また多くの中村鯨城会会員のご出席を頂き、心より感謝申し上げます。

平成 29 年 5 月 18 日、準備委員会がスタートしました。記念式典を開催するにあたり一番重要と考えましたところは、会員の皆さんの年会費の積み立てから捻出させて頂く費用を価値あるものに、また皆さんに納得していただけるものに使用したいということです。試行錯誤を繰り返し、あちらこちらへ足を運び多くの方々のお考えを拝聴させて頂きました。そして今回、出席者へのお土産のお菓子は中村区内にある自立支援の 3ヶ所施設へお願いしました。有名なお菓子ではありませんが何処にお金を使ったかが問題であり、ボランティアを主な活動としている当会にとって意義ある選択であったと思っております。袋詰めも会員の方々の協力を得て自分達で行いました。そして式典の大看板は業者をお願いすると 7 万円程とのことで、手作りしましたが、何と数百円で出来た自慢作です。(器用な製作者さん、ありがとう)

準備委員会の皆さんとは、何度も会場へ足を運び細部まで検討して頂きました。手作り感あふれる式典は、手前味噌ではありますが、ぬくもりとおもてなしの心を感じていただけたものと自負しております。

頼りない会長のもと、裏方に徹して支えて頂きました関係者、全ての方が主役であったと感謝申し上げます。

さて、中村鯨城会は進まなければなりません。課題は数々あります。続ける難しさと、更にステップアップさせる困難さは計り知れませんが、会員の皆様のご協力を頂き一步一步進んでいきたいと思っております。



安井会長



童謡の会の皆さん

《 定例役員会報告 》

第1回 定例役員会 (4月20日)

1、会長挨拶

- ・平成30年度方針『出来る範囲のことを無理なく・楽しく』をモットーにより多くの会員に活動や行事に参加していただけるよう工夫する
- ・ボランティア活動 日程に余裕のあるものについては、全会員又は全ボランティア会員から募集（活動員の固定化打開を図る）
- ・行事活動 各イベントにより多くの参加者を得るためのアイデアを
- ・学区委員活動 各ブロック別に活動を軌道に乗せる
- ・広報委員活動 紙面のマンネリ化に一考を
- ・地域活動委員 率先して地域委員の参加を（特に駅西清掃）
- ・会議における名札の着用をお願いする

2、幹事報告

- ・4月9日幹事会 入会率の回復を図るにはどうすべきか議論

3、報告事項・行事予定など

- ・5月11日 31期生歓迎懇親会
- ・5月12日 第1回ボランティア集会、6月23日 第2回ボランティア集会
- ・5月24日 地域ミーティング（33期生）

第2回 定例役員会 (5月18日)

1、会長挨拶

- ・30周年記念式典開催の準備及び協力の要請
- ・33期生地域ミーティングを5月24日に開催する 在校生34名

2、幹事報告

- ・16区会長と議案審議

3、報告事項・行事予定など

- ・区民まつりへの参加要請
- ・30周年記念式典（6月10日）の準備について
- ・5月25日 バス旅行 三河リゾートリンクス
- ・6月2日 中村区クリーンキャンペーン

第3回 定例役員会 (6月15日)

1、会長挨拶

- ・30周年記念式典の御礼
- ・32期生地域ミーティングを6月19日に開催する

2、幹事報告

- ・11月26日公開講演会開催予定
- ・かわら版1号発行

3、報告事項・行事予定など

- ・30周年記念式典関連収支会計報告
- ・5月28日 社会奉仕委員会参加
- ・6月23日 ボランティア集会で雑巾回収
- ・8月10日 特別企画講演会「脳卒中にならないために〈最近の治療〉」
- ・10月6日 鶴舞公園クリーンキャンペーン
- ・10月27日 区民まつり スタッフ募集

第4回 定例役員会（8月17日）

1、会長挨拶

- ・特別企画講演会の御礼 63名参加
- ・受領する各種補助金、報奨金、助成金の概要について

2、幹事報告

- ・グラウンドゴルフの開催について（10月23日庄内緑地公園）
- ・鯉城会ホームページの刷新について（1月～3月テスト4月実施）

3、報告事項・行事予定など

- ・作品展について 11月8日～11日
- ・9月12日 心の絆創膏キャンペーン
- ・9月14日 カルチェラタンでランチとクラシックコンサート
- ・10月6日 鶴舞公園クリーンキャンペーン 予備日 10月13日

第5回 定例役員会（9月21日）

1、会長挨拶

- ・区民まつりの協力要請と役割分担について

2、中村社会福祉協議会

- ・高木氏より自然災害が最近多い、災害に心構えをとの要請

3、幹事報告

- ・16区フェスティバル今年はやらないが来年度は実施する予定
- ・かわら版2号10月に配布

4、報告事項・行事予定など

- ・ボランティア活動 上期は昨年以上の参加を得た 下期もご協力を願う
- ・9月30日 児童館まつり
- ・10月12日 バス旅行 美濃路を散策
- ・10月23日 グラウンドゴルフ交歓会 庄内緑地・陸上競技場
- ・10月27日 区民まつり
練習日 第1回10月9日・第2回10月25日
- ・11月10日 堀川清掃 参加目標20名ふるって参加を
- ・33期生地域ミーティングを11月28日開催

《 地域ミーティングに参加して 》

32期 健康B 高坂 英夫

地域ミーティングに参加、AED 使用法と消火器の使用方法を中村消防署の指導の下で講習を受けました。応急手当の必要性として、救命の連鎖と言ひ、命を救う為には、心拍停止の予防、119 番通報、応急手当、救命措置のいずれも迅速に行う事が重要と説明を受けた後、AED 使用体験をしました。使用方法はスイッチを ON にするとアナウンスが流れ、その指示通りの行えば良いとのこと。胸骨圧迫では腕を垂直にして胸にあて、体重をかければいいのですが、救急車が来るまでの間、かなりの重労働になると思いました。



また消火訓練は暑い中、1 階の駐輪場で消火器を使用しての初期消火の訓練を受けました。『火事だー！』と大きな声を発して駆けつける事が大切だと教えられました。

鯉城会の役員、会員 20 名余と 32 期生 10 名余が参加しました。初めての参加で鯉城会の内容を把握していませんでしたので、グリーンのチョッキを着用している方がメンバーという事も知りませんでした。

先輩たちが地域の活性化に貢献して頂いている事は、少なからず理解しました。私も出来る事は協力したいと思います。役員の皆様本当にご苦労様でした。感謝。



先ず、大きな声を発し駆け付け、助けを呼びましょう！！

《 活動報告と今後の予定 》

◎活動報告

- *名古屋駅前クリーンキャンペーン 6月2日(土)
- *中村生涯学習センター周辺清掃 4月～9月 毎月第3金曜日
- *名古屋駅西清掃 4月～7月 9月 毎月24日
- *ミツカン酢&鳴海焼却場 施設見学会 8月28日(火) 18名参加
- *こころの絆創膏キャンペーン 9月12日(水) 9名参加

◎今後の活動予定

- *鶴舞公園クリーンキャンペーン 10月6日(土)
- *堀川クリーンキャンペーン 11月10日(土)
- *名古屋ウィメンズマラソン 3月10日(日)



《 施設見学会の報告 》

30期 星野 憲次

8月28日(火) 環境事業所のマイクロバスで施設見学会を実施しました。毎月24日開催のJR西清掃活動メンバー18名の参加でした。当日は同行環境事業所職員2名の案内で、中村生涯学習センター8時50分出発し、半田のミツカン酢ミュージアム見学と鳴海の焼却場を見学しました。



ミツカンミュージアム

ミツカン酢ミュージアムでは酢の生成方法とその歴史を学びました。今まで知識の少なかった酢の製造方法と半田発祥のミツカン酢の歴史を学びました。

ミツカン酢が全国に8か所の工場を持ち、酢については海外販売も多い点とまた酢以外の我々のなじみの製品もたくさんあるのに驚きました。

鳴海焼却場では名古屋のごみ処理の現状と焼却の仕組みとを学びました。名古屋市では今回見学の鳴海工場と五条川、猪子石、南陽工場の4か所でごみ焼却をしております。その焼却の仕組みについても工場見学で理解出来ました。ごみは水分が多いと焼却に時間がかかりコストが上がるので、出来るだけ水分を少なくしてごみを出してほしいとの要望が、見学をしてよく理解出来ました。

今回の環境事業所主催の施設見学会で色々な知識を得ることが出来、有意義な時間を過ごせました。

福祉活動委員会

《 活動報告と今後の予定 》

会員の皆様には日頃からボランティア福祉活動にご尽力頂き感謝致しております。

上期の活動を通じてみますと、皆様の得意芸の披露、また50年振りの暑さの中の盆踊り等、実施した各施設では大喜びでした。

上期の実績と今後の予定を下記の通りご報告いたします。

◎活動報告（4月～9月）

	施設名	活動内容	日数	総人数
定期活動	特養老人ホーム永生苑	喫茶サービス手伝い、童謡	26	57
	中村児童館	ちびっこ広場手伝い	6	23
	よろずや本陣	童謡	8	32
	高齢者いきいきサロン寿寿	アトラクション、茶等	12	108
	高齢者いきいきサロン菜の花	アトラクション、茶等	6	54
	高齢者ふれあいサロンなでしこ	アトラクション、茶等	5	39
	特養老人ホーム永生苑他 17 施設	雑巾等の配布	1	25
	よろずや本陣他 2 施設	季節の写真展示	18	108
	小 計		82	446
不定期活動	けあびーんず塩池	車椅子手伝い（買い物）	8	16
	日吉の郷	童謡、手品、落語、銭太鼓	6	20
	八社コミュニティーセンター	童謡	1	3
	天神社	童謡	1	3
	中村ディサービスセンター	盆踊り、模擬店	5	37
	介護老人施設はった	盆踊り	1	4
	老人保健施設第一若宮	盆踊り	1	8
	米野いきいきクラブ	バルーンアート	1	2
	あかりの家中村苑	マジック、オカリナ	3	7
	チャレンジクラブ中村会場他 1 カ所	オカリナ	2	3
	なもなも社協	オカリナ	1	2
	六反コミュニティーセンター	オカリナ	1	2
	なごやかハウス名楽	盆踊り、模擬店	1	20
	鯉城学園	図書の貸し出し	13	13
	ボランティア連合会	総会等	2	3
小 計		47	143	
合 計		129 日	589 人	

◎ 今後の活動予定

10月 27日(土) 区民まつり

11月 2日(金) 第3回ボランティア集会（千成 正賢寺）

はいかい高齢者おかえり支援

下期もボランティア福祉活動目白押しです。相変わらずのご尽力宜しくお願い致します。

《 活動報告と今後の予定 》

◎活動報告

開催期日	行事名	企画内容	開催場所
5月25日	親睦会	リゾートホテルでのランチ会	西尾市
8月10日	講演会	脳卒中にならない為に	中村生涯学習センター

◎今後の活動予定

開催期日	行事名	企画内容	開催場所
9月14日	ランチ&演奏会	フレンチのプチコースとピアノ演奏	池下（カルチェラタン）
10月12日	バス旅行	和紙の里・刃物の町を散策	岐阜県美濃市・関市
11月8日 ～11日	作品展	中村鯉城会員による作品展	本陣ギャラリー

《 脳卒中にならない為に 》

31期 寺澤 薫子

8月10日生涯学習センターにて開催され、ほぼ満席の盛況でした。講師は脳外科の第一人者である、医学博士・安城更生病院脳神経外科の大田圭祐先生でした。

日本で死亡率が高いのは、1. 癌 2. 心筋梗塞 3. 脳卒中だそうです。その中で脳卒中にならない為にはどうすればよいのかについて、最新医学の進歩や新薬のいろいろなものを交えての講演でした。また、人間に必要なものは「ミネラル・塩分・たんぱく質」であり、日ごろからバランスよく摂取することが必要だと言われていました。血压については、計る時間帯は朝の寝起きが一番で、最高140以下で最低90以下が良いそうです。脳卒中については発症したら治療までの時間が問題であり、1時間以内ならば助かる確率が高いそうです。すぐ救急車を呼んで病院へ直行です。手術には「カテーテル、ステントローチ」などがあるそうです。持病としては「糖尿病、不整脈、心臓病」のある方はご注意とのことでした。

いろいろとビデオなどで説明を頂きましたが、難しく時間だけが過ぎました。もし私がおもうと大変心細く不安になりました。



《リゾートホテルでランチを楽しんできました！》

31期 古橋輝彦

5月25日（金）バスは9時出発。当日は天候にも恵まれ、バスから途中の景色を楽しみつつの吉良行きでした。途中西尾のお茶の松鶴園で製造工程などを見学、日頃自販機のお茶に慣れた舌には、このお茶の香りと味は新鮮でした。

さて、ホテルに到着、最上階レストランで三河湾の展望を満喫しながら食事を楽しみ、その後、お風呂につかり日頃の疲れをのんびり洗い流しました。

おだやかな三河の海や蟹遊ぶ

帰りは、近くの金蓮寺の阿弥陀堂（国宝）を拝見、こんな静かな山あいにも国宝となるようなお堂があるとは驚きです。納経帳を持ってないのが少し残念。さらに世に知られた吉良家の墓のある華蔵寺にもバスは寄りました。代々の当主の立派なお墓があり、一基は討入りされた義央の墓で、みなさんもお線香をあげていました。境内は梅の木がたくさんの実をつけており、

青梅や吉良家の墓は凜と立つ

バスから眺める周辺は、すでに田植えを終えた青々した田んぼと刈入れ前の小麦畑が目につき、子供の頃の地元の景色を思い出したことでした。また小麦畑は写真でよく見るゴッホの絵画を連想させ、

麦秋や車窓の周囲ゴッホの黄色

バスは道の駅で小休止して、予定通りの5時にセンターに到着、本当に楽しい一日でした。バスで一緒させて頂いた皆様、そしてお世話いただいた行事委員の方々に多謝です。

追記

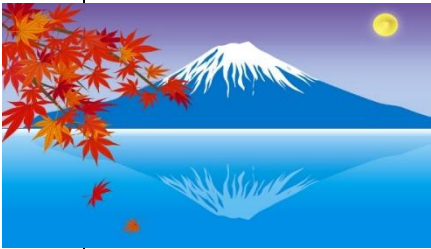
昨年の夏、鯉城学園囲碁クラブの宿泊研修会が吉良温泉でありました。

この宿泊ホテルは高台にあり、海岸を眺めると、近くに大きな立派なホテルが目につき、ここが三河湾リゾートリンクスでした。このときいつか機会があれば、ここにも行ってみたいと思っていたところ、何と半年後、中村鯉城会でこのホテルへ行くこととなりました。こんなに早く実現するとは本当にラッキーでした。学園同級生にも声掛けして共に車中の人となった次第です。






三河リゾートリンクスにて集合写真

同好会

同好会	活動状況	特記事項
<p style="text-align: center;">史跡散策</p>	<p>主に名古屋市内の名所、旧跡を散策します。 今後の活動 10月26日：高浜散策(鬼瓦の道と衣浦大橋散策) 11月30日：東山植物園(園内の史跡と紅葉) 12月7日：杵中近辺(川原神社、香積院ほか) 参加の方は必ず電話連絡をください。 連絡先：杉浦 弘 471-7796</p>	<p>主に春と秋の季節の良い時に散策します。 地元でも知らない所がたくさんあります。 新しい発見もいっぱいありますよ！ 📷</p>
<p style="text-align: center;">ギター</p>	<p>♪君を見つけた この渚に 一人たたずみ 思い出す 小麦色した 可愛いほほ 忘れはしない いつまでも〜♪ “青春を取り戻そう” せめて気持ちは若返ろう 連絡先：椎野 幸和 090-3078-4590</p>	<p>10月20日(土) センターまつりに出演 皆さん見に来て下さい 出演時間： 13:30~14:00 中村生涯学習センター</p>
<p style="text-align: center;">写真</p>	<p>10月12日 中村鯨城会日帰りバス旅行 「美濃路散策」に相乗り 10月27日 犬山秋祭り 犬山城と山車の巡行 旧城下町の風情を撮影 連絡先：杉戸 一夫 451-7457</p>	
<p style="text-align: center;">カラオケ</p>	<p>♪ 歌は世に連れ 世は歌に連れ ♪ 楽しく歌うことでストレス解消します。声を出すことで腹筋が鍛えられ、体幹アップし腰痛予防にもつながります。カラオケで健康を維持しています。一緒に歌いましょう。 連絡先：多田 正雄 481-1745</p>	<p>毎月第3水曜日 13:30~16:30 地下鉄中村公園駅 カラオケ Ban Ban</p>
<p style="text-align: center;">囲碁</p>	<p>“頭を使い、指を動かす” これって最高の認知症予防です。 初心者大歓迎！！女性大歓迎！！ 見学もOK！！ 連絡先：高橋 精二 486-0166</p>	<p>飯田 信康 6段の指導のもと、楽しく対局 月4回開催 13:00~16:30 中村生涯学習センター</p>

同好会

同好会	活動状況	特記事項
グラウンドゴルフ	<p>体力と健康の維持 認知症予防 コミュニケーション力 等々の効果あり!! 笑顔が堪えません</p>  <p>連絡先：水谷 俊博 411-7105</p>	<p>毎月第1、第3、第5 水曜日 9：00～ 11月からは9：30～</p> <p>場所：米野公園</p>
食べ歩き	<p>3月：お好み焼き 4月：和食 6月：ホテルランチバイキング 8月：ビアガーデン 10月：セントラルタワーズ 51F でフレンチ 次回をみんな楽しみにしています。</p> <p>連絡先：佐野 正子 090-9186-8260</p>	<p>☑ これまで食べ歩いて来た所です。</p> <p>ワイワイガヤガヤおしゃべりしながらのお食事、皆様も是非、ご参加ください!!</p>
ボーリング	<p>一投に思いを込めて スカッとストレス解消! 筋力アップ! 健康維持!</p>  <p>連絡先：杉野 肇 090-9122-4163</p>	<p>月1回 日には毎月変わりますので杉野まで連絡を</p> <p>場所：レジャック 6階</p>
盆踊り	<p>“踊るところに♪笑顔の花が咲く♪ 皆で楽しく踊りましょう♪”</p> <p>さあ～輪になって踊ろう!</p> <p>連絡先：大岸 泰子 090-2613-3036</p> 	<p>今夏はたくさんの施設で踊って来ました。 12月まで練習はお休みします。</p> <p>練習場所： 名楽福祉会館</p>
絵手紙同好会の掲載は表紙、裏表紙での紹介とさせていただきます。	<p>連絡先：住田 修 090-3256-0246</p>	<p>毎月第2、第4火曜日 14：40～16：30 名楽福祉会館</p>



ぼーっと生きてんじゃねーよ!

投稿しないとチョコちゃんに叱られるよー!

《 人生の最終章---だからこそ納得した人生 》

28期 吉田 允子

この年齢になるといかにして生き生きとした日々を送るか、又この世を去る寸前まで何とか元気でいたい、と願うものです。いくら年を重ねたとは言え、やはり知性と品位、またファッションセンスのある人に憧れるのは誰しも当然でしょう。その意味では岸恵子、曾野綾子、草笛光子、また元気をもらえる有名人としてデビ夫人などが私にとってあげられます。彼女達の天性の美貌に加えて、年を重ねていくにつれて数々の経験が積み重なり、円熟した魅力を放っている姿は見事であり多いに刺激されます。

最近、下重暁子が執筆した“家族という病”という本が注目されています。夫婦円満で確執のない平和的な家族を幻想だと言い切り、そこには理性が決定的に欠けており、家族団らんという名目で互いに依存しあっているだけだと主張しています。また一方で“夫を夫と思ったことはない”、つまり夫という形式的なポジションではなく“一個人”として相手を認識していると書かれています。無理やり型にはめ理想を繕う故にどこかに嘘っぽさを感じながらもそれぞれの役割を演じているという事でしょうか。

精神的に成熟した国としてフランスがあげられます。画一的なパターンから離れ、個々が生き易いスタイルを模索しながら幸せを求める姿は、現在の日本でも幅広い年齢層の中で少数派ながら見受けられます。老人の孤立化を防ぐ意図で数々のサークルを設け、コミュニケーションをはかる事もあながち悪くはありませんが、自己を押し殺してまで無理に溶け込むのは本人にとって苦痛でしょう。自分に合った距離感の中で個と群を使い分けていくのも一策でしょう。

我々高齢者にとっては一瞬一瞬が貴重です。与えられた短い時間の中で自分に正直に、他と比較することなく、自由な心と健康な体で日々を送れたら最高だと思っています。

**《 健康で元気であり続けるために 》**

25期 杉浦 弘

2~3年前は3分の1が畑仕事、3分の1が家の行事（孫の面倒ほか）、4分の1がクラブOB会関連、残りが中村鯉城会・町内会などで動いてきましたが、体の関係から畑仕事は縮小、孫も次第に手を離れ、また町内会の仕事も年の関係からできなくなっており、時間の使い方を見直す時期に来てしまいました。

健康で元気であり続けるには教養（今日、用事がある）、教育（今日、行く所がある）が最も大切なことだと思っています。当然なことですが教育・教養は待っていても与えられるものではありません。

私は鯉城学園に入って多くの友達を持てて良かったと思います。足腰・頭の衰えてきた中で家に閉じこもるのではなく、多くの友達をたよりに教育・教養の不足してくる分の充足をここ1~2年で進め、残された期間を有効に過ごしたいと思います。

《 妻の本棚 》

26期 平野 伸夫

それは天井まであり、本がびっしり詰まった本棚でした。

妻が生前に読んだ、積み上げた本で、遺品片付けの最後に残ったものです。

本棚の前で1冊ずつ手に取ると、生前は考えもしなかったのですが、彼女が何を考え感じていたのか、今になって彼女の思いが伝わってきます。

20歳代で難病を発症、30歳代で入院を繰り返し、40歳代は時間を惜しむが如くのエネルギーな活動期でした。50代の介護保険利用、身体障害者手帳申請を経て、医師から今回の退院は無理との宣告、覚悟を決めできるだけの治療を希望しましたが、管につながれ機械に囲まれた生命維持よりも自然な死が良かったかな？ と思いました。

亡くなる前夜は、近所を走り回っただろう少女期、夢見る乙女時代、私との出会い、子育て、社会・地域活動を朝まで語りかけました。

返事はありませんでしたが、きつとうなずいていただろうと思っています。

とても私の寿命がつきるまでに、本棚は空にならないと思いますが、もし全部読み切れたら妻からの自立のときでしょう。



《 これって趣味…？ 》

30期 三宅 佐喜子

ここ名古屋に来てから、敬老パスを使い、今日は西、明日は東へ。今までは車オンリーでバスの乗り方も分からなかった。おかげでいっばしのバス通になった。

趣味のきっかけは、二人の運転手さんに出会ってから。まず運転手のN氏。いつものように朝の栄ゆきに乗った。

「ゆっくりでいいですよ！」（おや、いつもと違う？） 「ドアが開いてから…」とマニュアル通り言うのが普通でしょ。それからはN氏のアナウンスに耳を傾けた。

ソフトな声はNHKアナ並み。

終点。思い切って「素晴らしいアナウンス、感動しました」

「ありがとうございます。行ってらっしゃい」（一日気分爽快！）忘れないうちに名前と評価をメモる。

二人目の運転手H氏。コーラス発表を終えた金曜日、初めて中村公園から名駅ゆきのバスに乗った。終点間際、「お客さん（私と八十代の女性）、ここから時間がかかりますよ」すでにバスは動き出していて、降ろして…とも言えず、「分かりました」

腰を据えた私に、「週末だけ混むのですよ」、そんな会話から話しが弾む。

耳の遠い私だが、運転手さんはマイクを着けているからとってもよく聞こえる。もう終点だ。「楽しいひとときでした。ありがとうございました」

早速メモしたこと、言うまでもない。お金はかからず、誰にも知られず、私だけの密かな楽しみ。さあ、

今日もどんな出会いがあるか、ドアが開いた。ステップ！

≪ 本田靖春著「村が消えた」を読んで ≫

29期 増田 清

「村が消えた」は昭和55年7月10日に発行されたノンフィクションの本です。私が32歳の頃読んだ本です。青森県六ヶ所村上弥栄部落の、戦前、戦後の運命を描いた物語です。戦前国策として「満州移民」が奨励されました。

関東大震災、そして世界恐慌と東北農村冷害と、日本の農村は疲弊にあえいでおり、当時「極楽王土」だった筈の「満州」も、日本の敗戦とともに消滅し、命からがらの引き揚げとなります。元の六ヶ所村にたどり着き、雑木林や荒地を開墾し、農作物を育て、牧畜を主要産業としますが、今度は「原子力政策」が襲いかかります。東京の資本家が地元の自治体と一体となり、土地の取得を始めます。

かつては「満州移民政策」に翻弄され、今度は「原子力政策」という国策に翻弄される事になります。この物語は、一国民と国策とは何かを問いかけます。国策も一国の繁栄を考えて策定されるものと思いますが、一国民にとっては、無情にも災難として襲い掛かります。公共の福祉か、一国民の利益か。どちらを取るにしても不利益は一国民に襲い掛かることをこの物語は示しています。公か個か永遠の課題かと思いますが、国家は巨大な権力を持っています。この本はその権力の使い方が妥当かどうか。弱いものを相手にした有無を言わせない使い方が、国家と権力について永遠の問題を突きつけています。



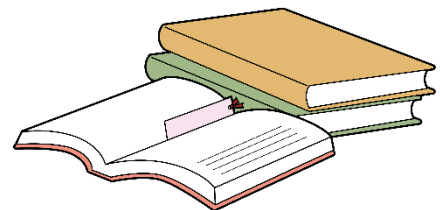
本田靖春 略歴 1933年 朝鮮京城生まれ

早稲田大学政経学部新聞学科卒

1955年 読売読新聞社入社、1971年 退社 フリー作家

主な著書 吉展ちゃん事件「誘拐」、金嬉老事件「私戦」など

2000年 没 享年71歳



※閑話休題

本田さんの著書の中に、競馬ファンとして競馬の効用についてこう書かれています。

「私はその時労働組合の役員をしており、労使交渉に於いて経営陣をやり込め得意の絶頂であった。有るきっかけで競馬をやるようになり、ちっとも中しない日々が続いた。ふと振り返ってみると、私は競馬も中させられない能力の人間であると気が付いた。もし競馬をやっていなかったら、鼻持ちならない傲慢な人間になっていたであろう」

これを読んで私も競馬を始めました。お陰で至って謙虚な？人間になりました。

《 広報委員のつぶやき 》

29期 藪野 豊

Twitter of an editor

なじまないタイトルだが任を果たす。題意は「ぼやき」に近い。入会時に勧めを諾したのを後悔はしてない…が、軽はずみを省みてはいる。任務は広報か、あるいは広報誌の編集か。いずれかだったならば今の心境とは異なる。個別的、技術的仕事とは抽象表現で、パソコン相手に頁印刷、イメージ挿入など、かつては業者が引き受けた仕事がメインだ。誌の特性を論じないとは言わないが、それはメインではない。線路は敷いてある。まじめに走るだけ。鉄道と自動車の違いで、自動車には「編集」作業がある。

Thanks for many notes

自由投稿をたくさんいただいた。忙しくはなっても、これぞ誌作制の支柱たるべし、駄馬にむち打って励む。

関わりあるどの会誌にも読者、会員参加の頁があり、それが会誌と会員との親近度合いを示す、だけではない。柔軟に発展してゆく様子も分かる。大きくは会の民主的展開にまで通じる。会員の個性が広く認識されればされるほど、会は望ましく展開される。

反して、仲間を望まれる「部分」からの原稿は、早くない、ときに請求を申し上げねばならぬ。望めば実現、望まざれば見切り発車…とはなりたくない。

Sentence or illustration

最近送呈を受けた3冊を開く。Aは291頁、本文中に地図と写真は、計4点だけ。Bは244頁に肖像画1点だけ、Cは315頁に、マウンテンの会らしく山の写真が数十点あるが、それ以外のイラストは見当たらない。

私は漫画世代でもないし、テレビ文化にも人生後半しか乗っていない。そもそも紙誌は文字文化の世界と心得ている。だが残念なことに、もはやエンディングの世代でもありとも理解しているから、本性の強情を抑制しているが、「ここには絵がほしい」「字ばかりでは読みにくい」などと聞くと、いつも複雑な感情が首をもたげる。

そうだ、この種の感情を目盛りにして、老兵のさるべき時を定めようか。

Respect orthography

言わずもがな、ちょっと遠慮。日本語にも正書法はれっきとしてある。スマホや漫画に用いられても、我々が文章中に平然と出てくるとき、少なくとも私はガックリする。中学で夏休み補習ボランティアをした友人が、訳した文章に納得できない語彙が多すぎて訴えてきた。世も末とまでは思わないにしても、明日の日本語を憂えてしまう。

秋深く音楽だけが添い寝する



《 会員の投稿から 俳句 短歌 》

俳句五句

耳に手を雲雀の声や久しぶり
 揚雲雀高く高くと何を見る
 炉開きにまだ見ぬ碗が出されけり
 鈴虫の鳴くや静かな珈琲店
 恋がまだできそうな夜の月見草

短歌三首

桃節句イベントを愛で笛を吹く
 聴衆すべて戦苦を生きし
 望外の余命恵まれポランティア
 感謝を込めて笛を吹き抜く
 花見あと幾度残れる歳となり
 せめてウソ無き政治を願う



《 脳トレ 》

数独



	3			4	8			7		6					3		
		7			5	4					9	2	4	3		5	
	5	4		9				1		2					9		
5	2							4	8	1		6	5				3
	4		2	8	3	6		5		3	2		7		8	6	
	6		4	5				2	9	4	6			2	5	7	1
3		8			9	2	1	4	3		1						
	9					3	7		6				3		2	8	
				3	4	5			2	9	8			7			

お知らせ

☆ 鯨城学園行事

- ◇ 体育祭 10月 4日 (木) 枇杷島スポーツセンター
- ◇ 文化祭 11月 15日 (木) ~ 17日 (土)

☆ 鯨城会行事

- ◇ 10月 6日 鶴舞公園クリーンキャンペーン
- ◇ 10月 23日 グラウンドゴルフ交換会 庄内緑地・陸上競技場
- ◇ 11月 10日 堀川清掃
- ◇ 11月 26日 公開講演会 【歌と演奏会】 伏見ライフプラザ鯨城ホール

☆ 中村鯨城会行事

日帰りバス旅行

10月 12日 (金) 和紙の里と刃物の町 美濃路散策

区民まつり

10月 27日 (土) 中村公園 香りの園

作品展

11月 8日 (木) ~ 11日 (日) 本陣ギャラリー

【編集後記】

連日の猛暑日、超大型台風の直撃、北海道地震と何と自然災害の多いことか。幸いにもこの東海地方は大きな被害から免れていますがいつ災害に襲われるか分かりません。個々でできる最低限の備えはして置きましょう。

30周年記念式典も無事に終わり、70号鯨城会だよりも仕上げることができました。会員皆様のご協力に感謝申し上げますと共に、今後のご支援をよろしくお願い申し上げます。

中村鯨城会だより第70号 (平成30年10月1日発行)

発行者 中村鯨城会

名古屋市高年大学鯨城学園

発行責任者 中村鯨城会会長 28期 安井 則子